

全農提供ラジオ番組のご紹介

あぐりずむ
ニッポン **いただきます紀行**

<https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>

- 放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)
- パーソナリティ：川瀬良子さん



農業部

<https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>

- 放送日：毎週木曜日 23:00～23:06 (広島FM)
- パーソナリティ：的場華鈴さん
大和明桜さん

**ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN**

<https://www.tfm.co.jp/cdj/>

- 放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)
- パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

～全国FM38局で放送中～



JA全農ひろしまホームページ



<https://www.zennoh.or.jp/hr/>

JA全農ひろしま 営農情報LINE



JAグループ広島 営農通信

2022年
夏号



▲第12回鹿児島全県に向けた個体調査の様子
(立会調査選抜会にて)

◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②令和4年産米等の作付意向
- ③県南部地域「恋の予感」特A獲得について

◆ 園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ TOPICS

- 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

◆ 営農支援情報

- ①就農を検討されている方対象『短期農業体験コース』スタート!
- ②全農チャレンジファーム広島・上下農場 第1期生 新規就農
- ③全農チャレンジファーム広島・三原農場、上下農場 新規就農研修生募集

◆ 肥料・農薬情報

- ①水稻の硫黄欠乏の発生原因と対応について
- ②暑さに負けない、農薬の省力散布技術のご紹介

◆ 農業機械情報

- ①共同購入トラクタ(中型)の購入生産者インタビュー
- ②見直そう! 農業機械作業の安全対策

米穀情報

① 米の需給動向

農林水産省の需給見通しでは、令和3年産生産量や需要量の見通しを踏まえた令和4年6月末民間在庫量は213～217万トンと見込まれ、4年産の適正生産量は675万トンとされています。これは、令和3年産が平年作(作況指数100)であった場合(696万トン)から21万トンの減産が必要な水準であり、全国的には令和3年産に引き続き大規模な作付け転換が必要な状況となっています。

【主食用米等の需給見通し(農林水産省の資料を基に作成)】

国の需給見通し(3/2食糧部会)			
令和3/4年	令和3年6月末民間在庫量	A	218
	令和3年産主食用米等生産量	B	701
	令和3/4年主食用米等供給量計	C=A+B	919
	令和3/4年主食用米等需要量	D	702～706
	令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	213～217
令和4/5年	令和4年産主食用米等生産量	F	675
	令和4/5年主食用米等供給量計	G=E+F	888～892
	令和4/5年主食用米等需要量	H	692
	令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	196～200

(注1)主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策(特別枠)の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

出典:米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(令和3年11月)(農水省)を基に作成

(注1)四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

平年作(作況100)の場合

696

▲21万トン(▲3.9万ha)

② 令和4年産米等の作付意向

農林水産省が公表した令和4年産米主食用米の作付意向(4月末時点)は、減少傾向37県、前年並み10県であり、前年の作付面積から約**3.5万ha減少の試算**となりました。作付転換が必要とされる3.9万haに未達となっており、需要に応じた生産の実現には、全国的により一層の作付転換が必要な状況となっています。

【令和4年産米等の作付意向(前年実績との比較、令和4年4月末時点)(農林水産省の資料を基に作成)】

	主食用米		加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場開拓用米	WCS	麦	大豆	備蓄米
前年より増加傾向	0県		21県	42県	24県	26県	33県	27県	30県	6県
前年並み傾向	10県		5県	3県	10県	4県	12県	7県	4県	19県
前年より減少傾向	37県	1～3%	30県	18県	0県	11県	9県	0県	11県	11県
		3～5%	4県							
		5%超	3県							

【参考】広島県を抜粋

広島県	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場開拓用米	WCS	麦	大豆	備蓄米
	↓	↑	↑	↓	→	→	→	↑	→

③ 県南部地域「恋の予感」特A獲得について

(1)概要

(財)日本穀物検定協会より公表された「令和3年産米の食味ランキング」において、広島県(南部)の「恋の予感」が特A評価を獲得しました。

このランキングは同協会が良質な米作りの推進と米の消費拡大に役立てるため、昭和46年産米から毎年全国の産地品種を対象に実施している評価制度です。測定機器による分析とパネラーによる食味官能試験を経て、「特A、A、A'、B、B'」の5段階で評価が与えられます。特に特A評価は近年、お米の付加価値をわかりやすく伝えられる指標としてスーパーやニュースなどで目にする機会も増えてきています。

「恋の予感」は平成30年産から出品し、連続してA評価を得ており、栽培法の改善により4回目で初の特A評価獲得となりました。



▲ 恋の予感

(2)品種特性

美味しさ支える「三本の矢」

第一の矢 存在きわ立つ粒の食感

張りの良いやや大きめの粒はひとたび口に含むとその存在をたちどころに主張し、噛みしめるほどに弾力と旨みが引き出されます。最後粒を飲み込むときに至っても喉の奥でその存在感が色あせることはありません。

第二の矢 どんなメニューにも合う万能選手

粒が丈夫なので丼物やカレー、酢飯にしても粒感が損なわれず、加えて噛むほどにじわりと甘味が出てくる懐かしやかな味わいでどんなおかずにもマッチするため、和食や中華なんでもござれの万能タイプのお米です。

第三の矢 冷めてもふっくら、ぷりぷり感

お米の本当の美味しさは冷めた時にこそわかります。冷めても固くなりなく、ふっくら、ぷりぷりとした粒感を維持するため、お弁当やおむすびに絶大な適性を発揮します。

(3)今後の取り組みについて

この度の特A獲得が発表された後、各所から「恋の予感はどうなお米なの?」「生産はどのくらいあるの?」とお問合せをいただき、販売先とのお話も増加しております。JAグループ広島では、ひろしま米の価値向上のため、「品種・地域」や「耕畜連携」ブランドの拡大を進めます。

■ JA全農ひろしまホームページ <https://www.zennoh.or.jp/hr/>
※トップページから、「米穀」とお進みください。

ひろしま米

検索

JA全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本：TEL.082-431-5450
米穀販売課／山口：TEL.082-431-3000



① 生産振興の取り組み

■夏場のハウレンソウ栽培における昇温抑制技術

広島県におけるハウレンソウ栽培は、夏場の安定生産が課題の一つになっています。広島県園芸振興協会およびJA全農ひろしまでは、課題解決のために広島県立総合技術研究所農業技術センターと協力して、令和3年に夏場の昇温抑制技術の検証を実施しました。

【検証方法】 昇温抑制の技術として、①調光②細霧冷房③外気導入の効果を検証しました。

1.調光について

栽培中、施設内の照度が50klx以上で遮光状態、25klx以下で解放状態となるように設定し、25～50klxの範囲では検証直前の照光状態を維持しました。※klx(キロルクス):照度の単位

2.細霧冷房について

ノズルを地上1.8mの高さに3m間隔で配置し、施設内の照度40klx以上、気温22℃以上、早退湿度70%以下、葉温22℃以上を条件に噴霧するように設定しました。

3.外気導入について

吸気用の換気扇を気温25℃以上で稼働。

【播種日】

6/11、6/21、7/5、7/12、7/21、8/2

※対照区は常時遮光のみとした

※時期別の処理方法については図.1参照。

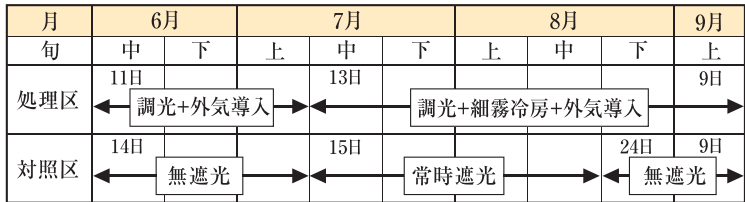


図.1 時期別の昇温抑制処理方

【結果】

日中の施設内気温については、処理区が25.8～31.8℃、対照区が26.2～34.6℃と、最大2.8℃低く推移しました。葉温については、細霧冷房作動中には、処理区が27.8℃～32.7℃、対照区が32.6℃～46.6℃と、最大13.9℃低く推移しました。

収量については、6/21以降の播種では草丈、葉数の大きさは処理区が対照区よりも大きくなりました。また、地上部の生育の状態については図.2、3の通りとなり、昇温抑制技術(調光、細霧冷房、外気導入)が夏場のハウレンソウ栽培に効果的であることが検証されました。



処理区

対照区

図.2 7月12日播種の圃場における地上部の生育の様子(8月3日撮影)



処理区

対照区

図.3 収穫物の外観(7月12日、8月18日撮影)

【まとめ】

処理区の時期別の収量および単価から、粗収益は1作当り約82.7～189千円/aと試算され、経営費を除いても1作あたり約16.1～123千円/aの所得が得られると考えられます。今回の検証で、夏場のハウレンソウ栽培が盛んになり、更なる産地振興につながれることが期待されます。

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和4年4月～5月までの販売経過

※金額は全て税抜

2022年(令和4年)4～5月の平均気温は全国的に高く、特に西日本でかなり高くなりました。降水量は、4月は平年比60～80%、5月は20～40%と、かなり少ない状況で、日照時間は高気圧に覆われやすかったため、多くなりました。全国の野菜の状況は、根菜類は生育順調、葉茎菜類及び果菜類は生育遅延及び小玉傾向、土物類では馬鈴しょ、さといもは生育順調ではあるものの、たまねぎは干ばつ等の影響により、小玉傾向となりました。

JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和4年5月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、出荷重量1,530t(前年比96%)、販売金額620,156千円(同93%)、単価は405円/kg(同97%)で推移しています。

■全農ひろしまの販売状況(令和4年4月～令和4年5月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	1,530	96%	620,156	93%	405	97%
青ねぎ	309	89%	129,020	94%	418	105%
アスパラガス	72	79%	111,918	73%	1,558	93%
トマト	263	92%	109,430	97%	416	106%
ほうれんそう	151	98%	63,833	105%	422	107%
きゅうり	238	113%	55,158	109%	231	97%
小松菜	221	95%	46,008	107%	208	113%
わけぎ	58	114%	28,681	98%	492	86%
豌豆	28	88%	28,287	82%	1,006	95%
青梗菜	40	103%	11,867	107%	297	104%
その他葉茎菜類	44	122%	11,811	126%	267	102%
ジャンボピーマン	2	50%	1,041	61%	435	113%
キャベツ	10	91%	786	136%	80	148%
ばれいしょ	2	25%	608	26%	247	85%
だいこん	4	200%	386	221%	108	113%
その他	88	94%	21,096	98%	415	97%

※全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじた}藤田:TEL.082-846-4708

◆5月単月の概況

【数量】

- 5月単月の出荷量は、前年と比較して45トン減少し、前年比95%で推移しました。アスパラガス、青ねぎの数量が減少したことが主な要因です。
- 一方、きゅうり(124%)、小松菜(106%)は、前年を上回る出荷数量でした。※()は前年比。
- 好天が続き、全体的に生育は順調で、前進となっています。

【金額・単価】

- 単価については、たまねぎやキャベツ、青ねぎ等で前年を上回っているものの、全体の平均単価404円/kgとなり、前年対比では97%で推移しました。
- 販売金額は数量減少、単価安のため317百万円(前年比92%)となりました。
- 新型コロナウイルスによる影響は続いているものの、外食関係需要や量販店での家庭用需要も回復基調と

◆6月の見通し

(1) 入荷量の見通し

6月の指定野菜(14品目)の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。「平年を上回る」と見込まれるのは、白ねぎ、ばれいしょの2品目です。「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、はくさい、ほうれんそう、青ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、たまねぎの10品目です。「平年並み」と見込まれるのは、にんじん、キャベツの2品目です。

(2) 卸売価格の見通し

6月の指定野菜(14品目)の卸売価格は、平年を上回る水準と見込まれます。「平年を上回る」と見込まれるのは、だいこん、はくさい、キャベツ、青ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、たまねぎの10品目です。「平年を下回る」と見込まれるのは、にんじん、ばれいしょの2品目です。「平年並み」と見込まれるのは、ほうれんそう、白ねぎの2品目です。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(6月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年6月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	ㇿ	=	ㇿ	↗	=	↗	広島(32)、山口(26)、青森(23)、大分(9)、長崎(6)
にんじん	ㇿ	=	=	=	=	ㇿ	長崎(74)、熊本(25)
はくさい	ㇿ	=	ㇿ	↗	↗	↗	長野(51)、大分(30)
キャベツ	ㇿ	=	=	=	ㇿ	↗	大分(21)、愛知(20)、広島(13)、長野(12)、熊本(7)
ほうれんそう	=	=	ㇿ	↗	=	=	広島(95)
青ねぎ	=	=	ㇿ	=	=	↗	広島(73)、大分(8)
白ねぎ	ㇿ	↗	↗	↗	=	=	鳥取(50)、大分(22)、鹿児島(15)、海外(6)、茨城(4)
レタス	↗	ㇿ	ㇿ	=	↗	↗	長野(95)
きゅうり	ㇿ	=	ㇿ	=	=	↗	広島(26)、宮崎(25)、佐賀(22)、熊本(15)、福岡(6)
なす	↗	ㇿ	ㇿ	=	=	↗	福岡(63)、佐賀(19)、熊本(9)
トマト(ミニトマトを除く)	=	ㇿ	ㇿ	=	=	↗	熊本(33)、広島(32)、島根(23)、佐賀(6)、宮崎(4)
ピーマン	ㇿ	ㇿ	ㇿ	↗	=	↗	大分(42)、宮崎(26)、高知(10)
ばれいしょ	=	↗	↗	ㇿ	ㇿ	ㇿ	長崎(70)、熊本(16)
たまねぎ	↗	=	ㇿ	ㇿ	↗	↗	佐賀(78)、山口(7)、北海道(6)、広島(3)
計	=	=	ㇿ	=	=	↗	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値である。
※この資料の内容は、令和4年5月24日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和4年5月24日 中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	241	76%	329	110%	354	101%	304	89%	244	72%	358	111%	242	99%	259	79%
にんじん	190	103%	202	105%	183	96%	218	104%	234	91%	286	120%	217	111%	251	102%
はくさい	338	106%	267	85%	342	108%	250	83%	201	72%	283	112%	220	88%	181	76%
キャベツ	501	90%	534	93%	534	85%	488	84%	522	87%	615	108%	509	85%	573	96%
ほうれんそう	44	66%	64	118%	61	111%	40	84%	41	82%	54	118%	30	69%	41	76%
青ねぎ	39	85%	37	83%	41	83%	37	79%	41	84%	51	112%	37	88%	39	81%
白ねぎ	57	113%	62	135%	54	119%	52	136%	45	124%	49	152%	31	102%	43	147%
レタス	163	79%	194	92%	212	94%	204	102%	173	87%	249	129%	160	79%	177	78%
きゅうり	159	96%	172	95%	197	85%	188	80%	244	96%	248	96%	205	74%	216	79%
なす	59	83%	73	112%	77	104%	74	101%	93	102%	106	127%	76	82%	84	93%
トマト(ミニトマトを除く)	99	103%	100	125%	112	87%	90	71%	113	83%	155	104%	154	90%	151	76%
ピーマン	43	91%	52	106%	65	104%	54	89%	66	98%	76	117%	63	94%	67	93%
ばれいしょ	255	99%	189	89%	255	88%	169	70%	257	104%	295	122%	305	120%	312	106%
たまねぎ	354	80%	313	75%	413	71%	429	90%	324	68%	359	77%	220	75%	270	81%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじ た} 藤田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	97	115%	97	128%	76	104%	65	94%	94	135%	82	114%	77	108%	111	168%
にんじん	111	62%	106	59%	108	62%	107	67%	102	71%	113	85%	110	91%	104	99%
はくさい	63	76%	87	106%	80	86%	97	109%	74	79%	53	63%	51	67%	79	125%
キャベツ	115	119%	122	154%	95	108%	99	109%	113	113%	97	99%	102	103%	97	111%
ほうれんそう	493	144%	327	94%	221	59%	338	81%	405	84%	473	102%	438	103%	468	111%
青ねぎ	626	119%	593	130%	515	124%	474	117%	461	111%	443	102%	455	97%	525	114%
白ねぎ	354	117%	294	101%	287	92%	294	93%	313	92%	330	90%	356	90%	316	81%
レタス	193	135%	164	134%	128	94%	132	91%	160	103%	126	82%	151	98%	188	139%
きゅうり	307	99%	267	86%	243	93%	251	105%	231	102%	271	133%	236	125%	220	105%
なす	400	102%	389	97%	374	97%	363	94%	340	98%	338	86%	360	95%	365	100%
トマト(ミニトマトを除く)	367	100%	365	98%	352	95%	385	107%	387	114%	342	114%	288	100%	303	117%
ピーマン	708	114%	653	109%	534	101%	453	94%	430	94%	455	103%	450	108%	405	121%
ばれいしょ	281	173%	262	156%	216	123%	232	129%	256	127%	234	119%	186	93%	151	80%
たまねぎ	251	237%	272	246%	288	288%	239	245%	255	260%	353	379%	261	294%	256	279%

資料：「広島市中央卸売市場日報」

注：平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

月 別 の 天 候

全国 3か月予報(6月～8月)		
令和4年5月24日14時00分 気象庁発表「向こう3か月の見通し」		
6月～8月	気温	平均気温は、北・東日本で高い確率50%、西日本で平年並または高い確率ともに40%です。
6月	天候	北日本では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東・西日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
	気温	気温は、全国で平年並または高い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、東・西日本で平年並または多い確率ともに40%、沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに40%です。
7月	天候	北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東・西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、北・東・西日本で平年並または高い確率ともに40%です。
8月	天候	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東日本日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、北・東日本で平年並または高い確率ともに40%です。

出典：気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／^{ふじ た}藤田：TEL.082-846-4708

TOPICS

トピックス

耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

●3-R田植え体験会を開催しました。

5月14日(土)に世羅町小国で、3-R商品「循環米せらにしあきさかり」の生産者である「おぐにフィールド」様の圃場に親子(約30名)を招き、田植え体験会を開催しました。「おぐにフィールド」様は、「発酵鶏ふん」を活用した資源循環型農業に取り組まれています。

当日は、手植えによる田植え体験だけでなく、3-Rに関するクイズ大会などを通して、資源循環型農業の大切さや、農地の維持が環境保全につながっていることなどを楽しく学んでいただきました。

参加された親子は「SDGsにつながる取り組みだと感じた。3-Rを始めて知ったが具体的に取り組みことができなかった。」や「裸足で入って気持ちよかった。線に併せて植えるのが難しかった。」といった声が上がりました。

今後も、3-Rについての理解醸成を図る取り組みを行っていきます。



▲田植え体験会の参加者



▲一列になり苗を植える様子

^{さんあーる}●3-R生産者紹介 広島市狩留家町湯坂地区 片平さん

1月から3-R循環野菜をとれたて元気市に出荷を開始された、広島市狩留家町湯坂地区の片平さんにお話を伺いました。

片平さんは、牛ふんたい肥を使用し、白菜や大根、なす、きゅうり等、約30品目の農産物を生産されています。元々は田んぼで粘土質だった圃場に牛ふんたい肥を投入したことで、土が柔らかくなり、水持ちがよくなったため、野菜の生育の促進につながっているとのこと。



▲3-R循環野菜を生産している片平さん

片平さんは、「3-R野菜の生産にあたり、土壌診断や栽培記録簿の提出が必要であるが、大きな負担になることはない。むしろ差別化できることが出荷者としての利点だと思う。畜産たい肥を使用することで環境保全にもつながるため、仲間が増えてくれれば」と語りました。

●耕畜連携・資源循環ブランド3-Rとは

耕種農業と畜産農業が連携する「耕畜連携」により生産された農畜産物を認証しています。

家畜の排せつ物を地域の大切な資源(Resource)としてたい肥化し、田畑で農産物や家畜用の飼料用作物の生産に再利用する(Recycling)。この活動を繰り返す(Repeat)ことで、持続可能な農業、そして環境保全につなげていきます。

3-R公式ホームページでは、新たに生産者様向けのページも開設しました。詳しくはURLまたはQRコードからアクセスしてご覧ください。

<https://www.zennoh.or.jp/hr/3-R/>



〈お問合せ先〉改革推進課／^{かりや}狩谷：TEL.082-846-4701

営農支援情報

① 就農を検討されている方対象『短期農業体験コース』スタート!

これから農業を始めたいが、「農業経験が全く無い」という方。「農業とはどういうものか」実際に体験してみて、「農業という職が自分に合っているかどうか」を見極めることも大変重要なことです。そこで、そのような方のための『短期農業体験コース』を用意いたしました。まずは、ご相談から。ご応募をお待ちしております。



※「JA西日本営農技術センター」から「広島営農技術センター」に名称変更(令和4年4月)



研修期間

5月～10月の中で、5日間、3日間、1日のいずれか
原則水曜日、水曜日が祝日の場合は木曜日(3日間の場合も同様)
ただし、8/13～8/17は除く

対象

将来、農業の自立経営又は法人等への雇用就農を目指し、
基礎的な農作業体験を希望する方(概ね65歳以下)

研修場所

広島営農技術センター(東広島市河内町入野11631-13)

研修内容例

- ①農作業体験 栽培管理・収穫・出荷調整作業など
(体験できる作物例 トマト・キュウリ・ホウレンソウ・キャベツなど)
- ②就農までのプロセス説明
(各種研修制度の利用、就農に至るまでの準備、営農開始時の必要事項など)
- ③相談

参加費等

無料(食費・交通費・滞在費などは自己負担)
※作業衣一式他の準備並びに保険への加入(必須)は各自でお願いします。

募集期間

令和4年9月末まで

【お問合せ先】 JA全農ひろしま 営農資材部 広島営農技術センター(担当:片島・沖田)
〒739-2208 東広島市河内町入野11631-13 ■TEL:082-437-2317 ■FAX:082-437-2310
■メールアドレス: zz_hr_h-einoushien@zennoh.or.jp

② 全農チャレンジファーム広島・上下農場 第1期生 新規就農

令和2年3月に開設した「全農チャレンジファーム広島・上下農場」で2年間の研修を終えた第1期生の林 新二(はやし しんじ)(32歳)さんが、このたび府中市上下町で就農することになりました。

令和4年4月28日(木)、研修終了および新規就農にあたり就農記念式典を行いました。就農に向けた本人の決意表明や激励、記念植栽を、府中市長、JA庄原代表理事組合長、農事組合法人野津田農園をはじめ来賓・関係者の皆様方多数ご臨席の中、執り行われました。



▲記念植栽の様子



▲決意表明の様子

③ 全農チャレンジファーム広島・三原農場、上下農場 新規就農研修生募集

上記農場では、引き続き、新規就農研修生を募集しています。

詳しくは、JA全農ひろしまホームページの「営農情報」からご覧ください。

全農チャレンジファーム広島

上下農場(アスパラガス)・三原農場(トマト)

新規就農
研修生 募集中!

◎三原農場

品 目 トマト
研修期間 原則2年間
対 象 研修終了後、三原市内で就農する見込みのある18歳以上45歳未満の方
定 員 原則2名(選考により決定)
研修場所 広島営農技術センター(東広島市河内町入野) チャレンジファーム広島・三原農場(三原市高坂町真良)

◎上下農場

品 目 アスパラガス
研修期間 原則2年間
対 象 研修終了後、府中市上下町内で就農する見込みのある18歳以上45歳未満の方
定 員 原則2名(選考により決定)
研修場所 広島営農技術センター(東広島市河内町入野) チャレンジファーム広島・上下農場(府中市上下町深江)

※新規就農生募集のご相談・お問い合わせは、前ページ記載の広島営農技術センター(担当:片島・沖田)までご連絡ください。

【お問合せ先】 広島営農技術センター／^{かたしま}片島: TEL.082-437-2317

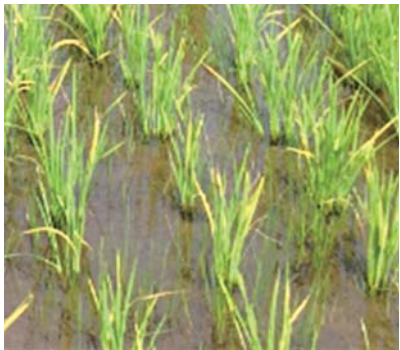
肥料・農薬情報

① 水稻の硫黄欠乏の発生原因と対応について

水稻の生育不良、特に初期生育の抑制(分げつ数が少ない、葉の黄化)が収量・品質低下を招いている場合があります。その原因が窒素欠乏に類似した「硫黄欠乏」の可能性もあることが明らかになっています。

水稻では、玄米収量600kg/10aに対して、必要な硫黄はおよそ2kgとされており、土壌や大気、用水、肥料などから吸収します。日本の土壌では、一般的に天然硫黄分が多いため、施肥は不要とされてきましたが、ここ数年で県内でも水稻での硫黄欠乏の発生が確認されています。

硫黄欠乏症の発生は、土壌などの環境条件によっても変化します。また、窒素欠乏やガスわき等による初期の生育停滞に症状が似ているため、外観のみで診断することは困難です。



▲硫黄欠乏病の例

(1) 症状

初期の生育停滞、葉の黄化(葉色が薄い)、分げつ数が減少と、激化すると下葉まで黄化してしまいます。(※田植え後30日頃に現れる。)

(2) 発生要因

① 硫黄供給量の減少

土壌の種類によって異なりますが、黒ボク土よりも鉱質土壌(広島に広く分布する花崗岩質土壌も含む)で硫黄含量が少ない傾向があります。作物にとって硫黄は必要な要素であり、吸収されるたびに土壌中から減少していきます。

② 土壌の異常還元化

土壌中に硫黄が存在しても、未熟有機物の急激な分解や排水不良による土壌還元が進行して硫化物イオンに変化し、水稻が吸収可能な状態(硫酸イオン)になりません。

③ 硫黄を吸収しづらい状況

生育初期は根張りが充分でなく、地上部の生育に硫黄の吸収量が追いつかない状態です。

⇒ 鋤床層の下に酸化層にまで根が伸長すると、硫黄が吸収できるようになり、途中から生育旺盛になります。

(3) 対策

【移植後の硫黄欠乏発生初期の応急対策(硫黄を含む肥料の添加)】

●「硫マグ」を本圃10～20kg/10a施用。

●「畑のカルシウム」を本圃20kg/10a以上施用。

※まずは被害株にひとつまみの「硫マグ」を株元に施用して1～2週間後の改善状況を確認します。

※「硫マグ」はより水に溶けやすいため、応急対策として推奨。

【次作にむけた対策】

●「畑のカルシウム」を春に基肥として40～60kg/10a本圃施用。

●「畑のカルシウム」500g/箱を苗箱施用し、適度に散水。

※上記②を防ぐために、稲わらの腐熟促進や完熟堆肥の施用に努めてください。



『硫酸マグネシウム』



『硫酸カルシウム』

現在のところ、硫黄欠乏を簡易に診断するための分析法は確立されておらず、症状も土壌の還元障害による生育不良と類似しています。

現地で疑わしい症状がみられた場合、「硫マグ」を症状が出ている稲の株元に埋め込み、生育が回復すれば「硫黄欠乏症」の可能性が高いため、上記資材を本圃に散布してください。

② 暑さに負けない、農薬の省力散布技術のご紹介

5月連休に田植えを行った地域では、はやくも1ヶ月が経過します。中には、初・中期一発除草剤の処理をしたにもかかわらず、雑草が発生している圃場もあるのではないのでしょうか。また、今後の気象条件にもよりますが、病害虫の発生も気になるところです。

そこで今回は、本格的に暑くなる中で水田除草・病害虫防除を省力的に行える製品を紹介します。

(1) 豆つぶ剤での省力散布

水稻農薬の省力製剤として「豆つぶ剤」という剤型があります。生産規模を問わず、「楽」に農薬を散布したい方には打って付けの剤型です。豆つぶ剤は、直径が3～8mmと大きく、水田へ散布すると水面を浮遊しながら有効成分を拡散していく【自己拡散型製剤】です。どの薬剤も**1袋(10a)あたり250gと軽量**なうえ、**優れた拡散性**を持つため、省力散布が可能になります。

特に本田剤での使用は、暑い中での粉剤や液剤、粒剤散布と比べると、労力負担や作業時間の削減ができます。トータルコストの低減にも貢献できる剤型のため、おすすめです。本田剤以外にも、初期除草剤からの一貫した省力防除体系を組むことも可能となっているため、是非一度お試しください。



(2) 豆つぶ剤の商品ラインナップ

区分	品名	規格	成分	対象	処理適期
初中期一発除草剤	ベッカク豆つぶ250	250g 2.5kg 10kg	ピリミスルファン……………2.0% フェノキサスルホン……………6.0% フェンキノトリオン……………12.0%	ノエビ・クログワイ・イボクサ	移植後3日～ノビエ3葉期但し、移植後30日まで
初中期一発除草剤	シンズイ豆つぶ250	250g 2.5kg 10kg	オキサジクロメホン…2.4% フェンキノトリオン…12.0% プロピリスルホン…3.6% プロモブチド…36.0%	ノエビ・ホタルイ・クログアイ	移植後3日～ノビエ3.5葉期但し、移植後30日まで
中後期除草剤	ヒエクリーン豆つぶ250	250g 2.5kg 10kg	ピリミノバックメチル……………4.8%	ノエビ	移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)
中後期除草剤	ツイゲキ豆つぶ250	250g 2.5kg	シメトリン……………12.0% ピリミスルファン……………3.0% フェンキノトリオン……………10.0%	クログワイ・オモダカ	移植後20日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期但し、収穫75日前まで
本田除草剤	スタークル豆つぶ	250g	ジノテフラン……………12.0%	カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイ	出穂期～穂揃期
本田除草剤	コラトップ豆つぶ	250g	ピロキロン……………48.0%	いもち病	出穂5日前まで
本田除草剤	ワイドバンチ豆つぶ	250g	メトミノストロピン……………48.0% エチプロロール……………24.0%	いもち病・紋枯れ病・ウンカ類・カメムシ類	出穂7～14日前



● 手まき散布

ゴム手袋をして、袋から薬剤を一握りすくい取り、10a(40m×25m)の水田では約4mごとに1回、30a(30m×100m)の水田では約3mごとに1回の割合で畦畔から投げ入れてください。



● ひしゃく散布

ひしゃく状の器具で薬剤をすくい取り、畦畔から投げ入れます。釣り用の「コマセひしゃく」が最適です。ひとすくい25gの場合、10a当たり10回の投入で散布完了です。

〈お問合せ先〉 肥料農薬課／谷保 TEL.082-846-4705

農業機械情報

① 共同購入トラクタ(中型)の購入生産者インタビュー

令和2年12月から販売を開始した共同購入トラクタ(中型)。

受付終了(令和5年3月)まで残り1年を切りました。これまで購入いただいた生産者の声をお届けします。

今回はJA庄原を通じて購入された佐々木信行さんをご紹介します。



【共同購入トラクタを知ったきっかけ、購入動機】

JA庄原秋冬期農機展示会にて、JA農機担当者より推奨してもらった。展示されていた機械に触れて、更新時期は少し早めだったが、現有機と同一メーカーで、低コストで機能も優れていることから購入を決めた。

【購入の満足度】

ロータリーもセットで購入したが、ワンタッチの脱着には満足している。

ロータリー、ディスクハローの活用で、荒起こし作業時の小回りも良く作業時間の短縮がはかれている。

【共同購入トラクタの主な使用目的、使用頻度】

水田経営(耕作面積1.5ha)でコシヒカリ・もち米を栽培しているが、土づくりには毎年土壌改良材(堆肥)を散布し、こだわりを持って取り組んでいる。トラクタは約50時間/年、使っている。

【その他(ご意見・要望)】

JA農機担当者には修理・整備含め十分対応してもらっており、信頼している。



左:購入いただいた佐々木さん 右:JA庄原MC 福場センター長



共同購入トラクタを使った代かきの様子

ご興味ある方は、最寄りのJA農機センター・株式会社全農アグリサポート広島までお問合せください。

● JAグループ共同購入トラクタとは ●

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選びすぐり、全国でまとめて注文することでメーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。

② 見直そう! 農業機械作業の安全対策



その農作業 ほんとに安全!?

**バックでの移動
や作業は危険が
いつぱいです**

※サイドクラッチの操作を熟知しよう
PTO駆動と車軸駆動の
特長をマスターしよう



**シートベルト・
ヘルメットは
必ず着用!!**

※転倒転落に注意・安全フレームは転倒事故の
際の死亡事故を防ぐことができます



**ヘルメット
長袖長ズボンの
着用**

※保護メガネ、すね当て、防護具の装着
刈刃の点検、草むらの異物の確認
周囲に人がいないかどうか確認



見直そう! 農業機械作業の安全対策
毎年300件以上、農作業中の死亡事故が発生しています。

農作業死亡者数 農業機械作業 機械・施設以外の作業 農業用施設作業



もしもの時の備えとして…

農業者も労災保険に加入できる制度があります。

詳細は最寄りのJA・県中央会等にお問合せください。

※一部のJA・県中央会については取り扱い出来ない場合があります。

JAグループ / 全農



〈お問合せ先〉農業機械課 / 平岡: TEL.0824-62-3103